

献 辞

大橋昭一先生は、2000年3月31日付をもってご退職になられました。

愛知県瀬戸市でお生まれになった先生は、和歌山大学経済学部を経て神戸大学大学院経営学研究科博士課程に進まれ、本学には1957年4月に商学部助手として着任されました。専任講師、助教授を経て1970年4月教授に昇任されました。この間、先生は、研究・教育はもとよりのこと、大学行政にも心血を注がれ、学生部長代理、商学部長、就職部長、教学部長、大学院商学研究科長、そして入学試験部長などの要職を歴任され、常に第一線で格闘されてこられました。

先生は、長年の間、学部で「経営学総論」、大学院で「経営学史研究」をご担当になり、幾多の俊英を世に送り出されてこられました。研究面では、主にドイツ経営学の研究に邁進され、1967年には不朽の名著『ドイツ経営共同体論史研究—ドイツ規範的経営学研究序説—』で神戸大学経営学博士の学位を授与されておられます。本学在職中の研究業績は、分担執筆著書等を含む著書は52冊、学術論文は74編にも及び、質量共に圧倒される思いが致します。

先生は学外にあっては、文部省学術審議会専門委員としてご活躍されるとともに、学会活動にも尽力されました。なかでも先生は1994年に社会主義経営学会理事長に選ばれ、同学会が比較経営学会と改称して後も同学会理事長を努められたほか、経営学史学会副理事長、日本経営学会常任理事を務められるなど、学会発展のために多大な貢献をされてこられました。

学生への面倒見も良く、常に大きな声で情熱あふれる講義をされ、何事にも誠心誠意全力投球される先生も、本年3月末をもって関西大学をご退職になられました。まことにさびしいかぎりです。先生には今後ともますますご健勝にして、関西大学商学部、商学会の発展のためにご指導、ご鞭撻をいただきますようお願いしております。私たちはここに先生の御足跡を回顧し、感謝の意を込めて『関西大学商学論集』の特集号をささげます。

2000年6月10日

商学部長 明 神 信 夫